

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		昭和46年度～	
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	04 安全で安心して暮らせるまちづくり
	小項目	施策	02 消防・防災
事務事業名		10	非常備消防施設管理事業
根拠法令・例規等		消防組織法	
問		担当課(室)	総務課
合		職・氏名	消防防災係長 大西武志
先		電話	64-1809
このシート作成に要した時間		1.0 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	消防団、地元住民
目的(何のために)	消防団の消防器庫(詰所)等を維持、管理することにより、災害時での消防団や地元地域の活動拠点として、円滑な災害対応を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	消防器庫1箇所あたりの維持管理費用の適正化

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	消防器庫管理	消防器庫の維持管理	◎
	分団消防備品	消防ホース等備品の購入	○

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費		2,502	1,689	2,972
	必要人員人件費	千円	0.09人 646	0.06人 366	0.10人 634
	事業費計		3,148	2,055	3,606
	国県支出金				600
	受益者負担				
	繰入金債	千円			
その他()					
一般財源					
受益者負担比率	%				
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	説明	消防器庫維持管理費			
	結果指標量	器庫数	74	74	74
	対前年比	%	-	100.0%	100.0%
	活動コスト	円	2,514,000	1,482,000	1,485,000
単位当たりコスト			33,973	20,027	20,068

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
消防器庫1箇所あたりの維持管理費	目標値(A)	34,000	30,000	30,000	25,000
	実績値(B)	33,972	20,027	20,068	到達目標値
	達成率(B/A)	99.92%	66.76%	66.89%	25,000
成果指標設定の考え方・式や説明					
消防器庫に係る経費÷箇所数					

事務事業の評価		妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性の必要性	B
	市民ニーズ	
効率性の評価	コスト	C
	目的達成度	C
有効性の評価	市民参画度	C

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明		○				
ホース購入本数を2部に1本あてとする。不要な光熱水費の削減に努める。						

総合評価		評価区分 <A~E>	妥当性
消防器庫が74箇所あり、団員数や活動実態に合わせて、統廃合を検討する必要があるが、地域での防災活動拠点としての機能もあり、最低限の維持管理は必要である。		C	有効性 <A~E> 効率性

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標		○				
器庫の整備を行うと同時に、災害時支障をきたさないよう、消防団による維持管理も適正に行うよう依頼						

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい